



「北朝鮮」の核実験に対する抗議及び対話による平和的解決を求める声明

5月25日、朝鮮中央通信の報道として、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)政府が「自衛的核抑止力を強化するための措置の一環として、地下核実験を成功裏に実施した」ことが大きく報じられました。私たち日本YWCAは、北朝鮮政府が、2006年10月9日の実験につづいて2回目の核実験を行なったことに対して、強く抗議いたします。

日本YWCAは、アメリカによるヒロシマ・ナガサキへの原爆投下による被爆の経験から、核と人間は共存できないことを確信し、あらゆる核実験の中止と核兵器の廃絶を求めて活動をすると共に、核の脅威を次世代に伝えようと「ひろしまを考える旅」を1971年以来毎年実施してきました。また戦後半世紀の経験から、私たちは核兵器の保有が、国際緊張をもたらし、世界の平和構築を妨げていることを熟知しています。

また、今回の核実験は、バラク・オバマ米国大統領の4月のプラハ演説「核のない世界」の実現への呼びかけや、2010年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けての準備など、核兵器廃絶をめざす国際社会の流れに逆行するものです。

日本YWCAは、北朝鮮が核問題をめぐる6者協議からの脱会を取り消し、各国の招きに応じて対話の席にもどることを切に求めます。武力で平和はつくれません。北朝鮮をはじめ、すべての核保有国が、対話によって、いのちの尊厳に立ち返り、次世代への責任として核兵器の保有を放棄し、真の平和構築のために英知を集めて働くべきだと考えます。

2009年5月26日

日本YWCA
会長 石井摩耶子
総幹事 川端 国世